



セイノーホールディングス株式会社

証券コード：9076

平成28年度スローガン

進化

## 第96期 中間株主通信

平成28年4月1日 ▶ 平成28年9月30日



## セイノーグループ事業概要

「カンガルー便」でおなじみの路線トラックで、日本全国の企業間物流のパイオニアとして日本の産業を力強く支える輸送業を核に、自動車分野の知識を活かした自動車販売など本社所在の西濃地方を中心とした生活支援の事業を行っています。

企業間物流 取扱量 No. **1**      トラックターミナル拠点 **683** 拠点      年間車両走行距離 地球 **15,972** 周

連結子会社70社、関連会社19社



「人間尊重」と「挑戦」のDNAを基礎とした「経営理念」  
 ～お客様への+αの豊かさの提供の為に～『会社を発展させ、社員を幸福にする』  
 全社員が幸福になるには、経済的に満たされること、自分の仕事に誇りを持つこと、将来に明るい展望を持つこと、この三点が何よりも重要と考えています。これら「経済問題・誇り・将来性」を幸福の三本柱と呼んでいます。

## ご挨拶

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。  
 ここにセイノーホールディングス株式会社第96期 (平成29年3月期) 上半期における業績、財務概況についてご報告申し上げます。  
 当社グループを取り巻く環境が変化中、本年のスローガン『進化』のもと、グループ70社が一丸となって、時代の変化に対応すべく自らを律し、より一層社会に貢献できる企業集団を目指してまいります。  
 株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

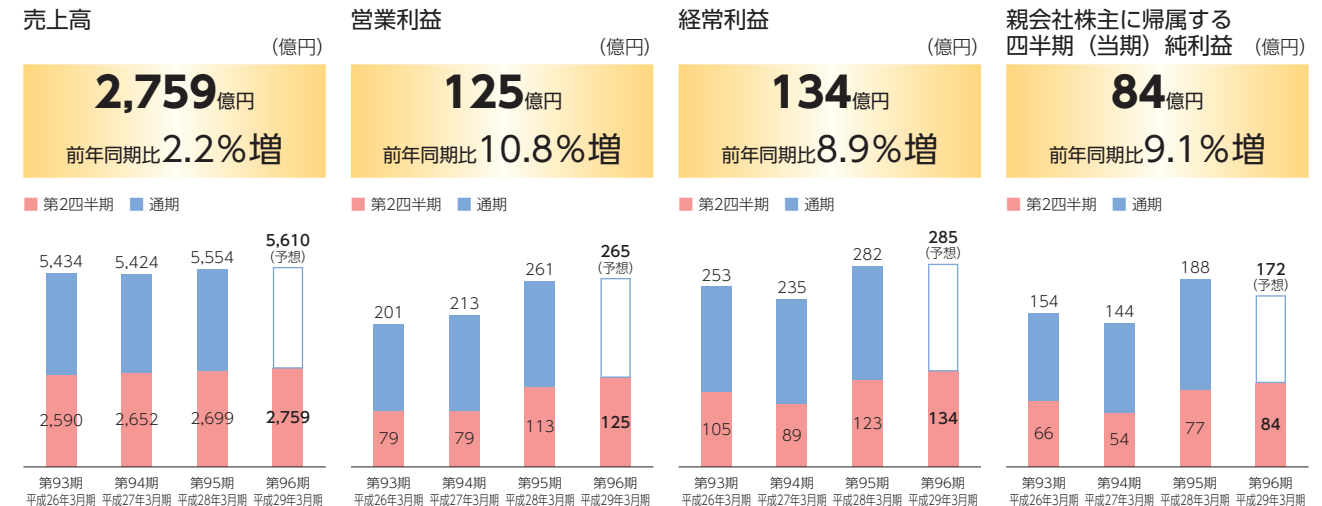
代表取締役社長

田口 義隆



## 上半期決算ハイライト

- ◎ 輸送事業では、ドライバー増員等でコスト増となる中、新規荷主獲得や適正運賃・料金収受、更なる効率化により増収増益。
- ◎ 自動車販売では、乗用車の新型車の販売増に加え、トラック・バスの新車販売も大幅に増加し、増収増益。
- ◎ 物品販売事業では、燃料価格の下落により減収。



## セグメント別の概況

### 輸送事業

売上高 2,060億円  
前年同期比1.9%増

構成比 74.7%



ビジネスセンターによる台車配達 自動仕分機

- 新規荷主の獲得や適正運賃・料金収受の積極的な交渉を推進。
- 路線車両の出発時間、待機時間の改善による効率化を実施。

### トピックス

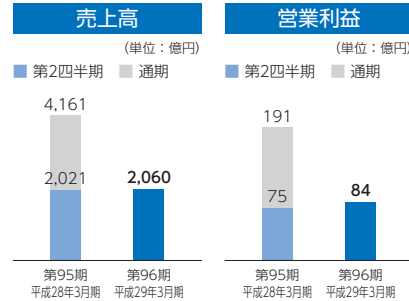
#### “セイノー ロジ・トランス新木場” が誕生

西濃運輸株式会社では3月1日に東京都江東区新木場に、“セイノー ロジ・トランス新木場” が誕生しました。  
“セイノー ロジ・トランス新木場” は西濃運輸最大規模の複合ターミナルで、国内物流と国際物流の接点として、TC（通過型）物流機能とDC（保管型）物流機能を東京湾岸エリアにおいて、一体型で24時間サービスをご提供する施設です。



#### “タイのサハグループ、インドネシアのサリムグループとの物流事業提携”

当社は、タイのサハグループ、インドネシアのサリムグループと物流事業の合併会社を設立し、両国ASEAN地域での物流基盤と当社グループが有する物流事業におけるノウハウ・技術を融合し、日本と同水準の高品質なサービスを目指しています。



### 物品販売事業

売上高 129億円  
前年同期比9.4%減

構成比 4.7%



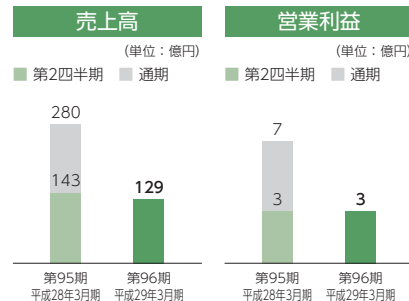
田口町サービスステーション 富有柿

- おむつやティッシュペーパー等、家庭紙販売が好調に推移。

### トピックス

#### 朝日大学とのコラボ商品“第2弾”を販売

当社では朝日大学（岐阜県瑞穂市穂積1851番地、学長 大友克之）とのマーケティング分野における産学連携活動の一環として、同経営学部ビジネス企画学科の学生との間で株式会社セイノー商事が企画商社としてコラボレーションし、通販用の岐阜県特産品詰め合わせセットの企画・開発に取り組んでいます。



### 自動車販売事業

売上高 492億円  
前年同期比7.6%増

構成比 17.8%



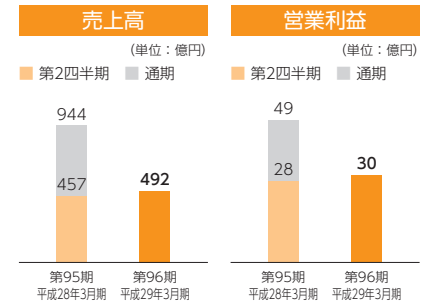
トヨタカローラ岐阜 大垣南店 整備士による車両点検

- フルモデルチェンジした車種の販売を中心に乗用車の新車販売台数が増加。
- トラック・バスの新車販売が増加。

### トピックス

#### 商品化センター稼働開始

トヨタカローラ岐阜株式会社では新車・配送・板金を担うトータルサポートセンター（岐阜県関市）内に、下取車等を商品化する集中入庫センター機能を統合し、商品化センターとして稼働させることで効率化と品質の向上を図っています。



### 不動産賃貸事業

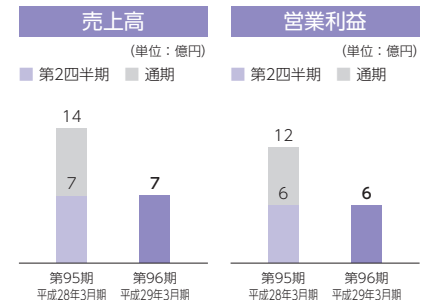
売上高 7億円  
前年同期比0.9%増

構成比 0.3%



旧梅田ターミナル跡地 旧四ツ橋ターミナル跡地

- 旧梅田ターミナル跡地の単身用賃貸マンションを建築、運用により増収。



### その他

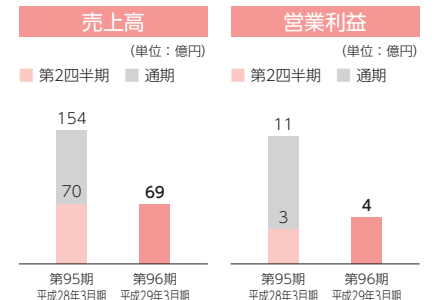
売上高 69億円  
前年同期比1.2%減

構成比 2.5%



スマートデバイス ジャンボタクシー

- 情報関連事業において、クラウドサービスや物流アウトソーシングが好調に推移。



## 連結財務諸表（要旨）

### 連結貸借対照表

（単位：百万円）

科目	前期末 平成28年3月31日現在	当第2四半期末 平成28年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	221,277	219,216
固定資産	358,287	356,964
有形固定資産	290,150	291,192
無形固定資産	19,772	19,149
投資その他の資産	48,363	46,623
資産合計	579,564	576,181
<b>負債の部</b>		
流動負債	104,206	97,928
固定負債	104,351	104,125
負債合計	208,558	202,053
<b>純資産の部</b>		
株主資本	361,017	364,655
その他の包括利益累計額	3,851	3,326
非支配株主持分	6,138	6,145
純資産合計	371,006	374,127
負債・純資産合計	579,564	576,181

決算短信などの詳細情報は

セイノーHD IR 検索

### 連結損益計算書

（単位：百万円）

科目	前第2四半期 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	当第2四半期 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで
売上高	269,951	275,921
売上原価	241,094	245,329
売上総利益	28,856	30,592
販売費及び一般管理費	17,555	18,065
営業利益	11,301	12,526
経常利益	12,322	13,417
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,786	8,498

### 連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	前第2四半期 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで	当第2四半期 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,577	14,205
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 29,737	3,375
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,096	△ 5,391
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	△ 54
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△ 13,066	12,135
現金及び現金同等物の期首残高	66,777	63,838
現金及び現金同等物の四半期末残高	53,711	75,974

## ワンポイント解説

#### 連結貸借対照表

総資産は、5,761億81百万円と前連結会計年度末に比べ33億83百万円の減少となりました。現金及び預金が増加したものの営業未収金及び売掛金や投資有価証券が減少したことなどが主な要因であります。

負債については、2,020億53百万円と前連結会計年度末に比べ65億4百万円の減少となりました。未払法人税等や未払費用が減少したことなどが主な要因であります。純資産については、3,741億27百万円と前連結会計年度末に比べ31億20百万円の増加となりました。

#### 連結損益計算書

P.2「上半期決算ハイライト」及びP.3～4「セグメント別の概況」をご覧ください。

#### 連結キャッシュ・フロー計算書

現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ121億35百万円増加し、759億74百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ76億27百万円増加し、142億5百万円となりました。これは主に、未払消費税等の増減額が増加したこと等によるものです。

投資活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ331億13百万円増加し、33億75百万円となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が減少したこと等によるものです。

財務活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ154億87百万円増加し、53億91百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入が減少したこと等によるものです。

## 会社情報・株式の状況（平成28年9月30日現在）

### 会社情報

創 業 昭和5年2月11日  
 設 立 昭和21年11月1日  
 本 社 岐阜県大垣市田口町1番地  
 資 本 金 42,481,597,426円  
 事 業 内 容 1. 貨物自動車運送事業  
 2. 貨物利用運送事業  
 3. 倉庫業  
 4. 自動車の販売、修理等  
 5. 燃料、紙・紙製品等の販売  
 6. 他の事業に対する投資  
 7. 前各号に付帯する一切の事業 他

グループ会社 連結子会社 70社  
 持分法適用関連会社 4社  
 関連会社 15社

### 役員

代表取締役社長 田 口 義 隆  
 代表取締役 田 口 隆 男 事業推進部担当（自動車販売・関連事業）  
 取締役 大 塚 委 利 対外事業担当  
 取締役 神 谷 正 博 事業推進部担当（輸送事業）兼情報システム部担当兼不動産開発部担当  
 取締役 丸 田 秀 実 国際戦略室担当兼新規事業開発部担当  
 取締役 古 橋 治 美 総務部担当兼人事部担当兼コーポレート推進部担当  
 取締役 野 津 信 行 経理部担当兼財務IR部担当  
 社外取締役 棚 橋 祐 治  
 社外取締役 上 野 健 二 郎  
 常 勤 監 査 役 熊 本 隆 彦  
 常 勤 監 査 役 寺 田 新 吾  
 社 外 監 査 役 加 藤 文 夫  
 社 外 監 査 役 笠 松 栄 治

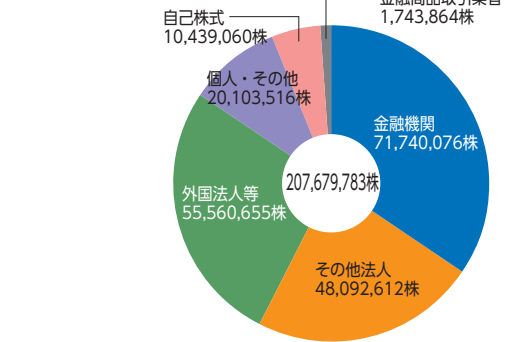
※ 平成28年9月22日、取締役相談役田口義嘉壽氏は死去いたしました。

### 株式の状況

株 主 名	持 株 数
発行可能株式総数	794,524,668株
発行済株式の総数	207,679,783株
単元株式数	100株
株主数	5,798名
株主名	持株数
公益財団法人田口福寿会	24,818千株
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	9,721
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	7,807
株式会社十六銀行	6,538
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	5,347
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	4,786
日野自動車株式会社	4,359
株式会社大垣共立銀行	4,065
アドニス株式会社	3,299
田口義嘉壽	3,249

（注）1. 上記のほか当社保有の自己株式10,439千株があります。  
 2. 上記大株主の田口義嘉壽氏は平成28年9月22日に逝去されましたが、平成28年9月30日現在、名義変更手続きが未了のため、株主名簿上の名義で記載しております。

### 所有者別株式数



#### ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報など、当社をご理解いただくためのさまざまな情報を紹介しております。

セイノーHD

検索

<http://www.seino.co.jp/seino/shd/>

西濃運輸株式会社のホームページでは、幅広い輸送商品や輸送に役立つ情報などを紹介しております。

西濃運輸

検索

<http://www.seino.co.jp/>

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法 電子公告  
<http://www.seino.co.jp/seino/shd/koukoku/index.htm>  
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

### 株式に関するお手続きについて

お手続きの内容	証券会社の口座を開設されている株主様のお問い合わせ先	証券会社の口座を開設されていない株主様のお問い合わせ先
単元未満株式の買取・買増	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
住所・氏名などの変更		
株式の口座振替請求		
配当金受取り方法の設定		
未払配当金のお支払		
その他株式事務について	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	

### 単元未満株式(1～99株)の買取・買増について

当社株式の市場取引は100株単位となっております。単元未満株式をお持ちの場合、端数の株式が整理できる買取・買増制度を設けております。

#### 買取請求とは

お持ちの単元未満株式を、当社に対して時価で売却することができる手続きです。

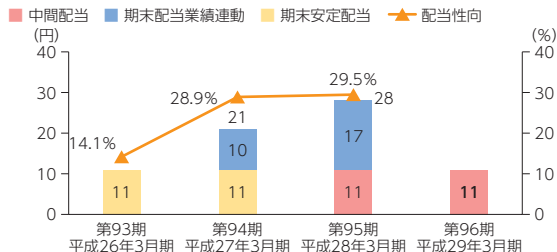
#### 買増請求とは

お持ちの単元未満株式と合わせて1単元(100株)となるように、当社に対して時価で単元未満株式の売り渡しを請求することができる手続きです。

### 株主還元情報

#### 配当金

利益分配につきましては、第94期より中・長期的視野に立って株主資本の充実と利益率の向上を図りながら、中間配当を実施し、原則として1株当たり年間11円を下限とし、連結配当性向30%を目標として配当を実施するよう努めてまいります。



#### 株主優待制度

毎年3月末日現在の株主様へ、保有株式数および保有期間に応じた額面のオリジナルQUOカードを贈呈いたします。



	100株以上 1,000株未満	1,000株以上
3年未満保有	500円相当	1,000円相当
3年以上継続保有(※)	1,000円相当	2,000円相当

(※) 3年以上継続保有とは、権利が確定する3月末日現在の株主名簿を含む、過去の3月末日および9月末日現在の株主名簿へ7回連続して記載されることとします。

また、その期間中の株主名簿への株式数の記載が100株または1,000株を下回らない場合を、それぞれ100株以上または1,000株以上とします。

### セイノーホールディングス株式会社

〒503-8501

岐阜県大垣市田口町1番地

TEL 0584-82-3881 (代)



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。